

社会福祉法人ふじみ野市社会福祉協議会

支部活動推進計画

—みほの支部—

モデル支部指定年度：平成26年度～平成29年度

コミュニケーションは 笑顔のあいさつから



モデル支部推進事業

ふじみ野市地域福祉活動計画（平成25年度～29年度）
重点項目1 「モデル支部の設置による支部活動推進計画の策定」

もくじ

みほの支部の状況	-----	1
計画策定経過、今後の予定	-----	1
地域の状況（地区懇談会より）	-----	2
支部マップ	-----	4
地域の主な困りごと	-----	6
地域の主な困りごとを解決するうえでのポイント	-----	6
基本方針	-----	7
支部活動推進計画	-----	7

モデル支部推進事業

ふじみ野市社会福祉協議会では、町会・自治会・町内会を単位に、現在54か所の社協支部を設置し、見守り活動やふれあい・いきいきサロン、世代間交流事業、新入学児童お祝い事業、社協会員募集や共同募金運動等、様々な小地域福祉活動に取り組んでいます。

しかし、高齢化率が高い地域や子育て世代の多い地域、世帯数や人口、マンションや新興住宅地等の住宅の形態、区画整理地や商業地、市街化調整区域など、地域によって生活環境が異なることから、その地域（支部）が抱える福祉課題も異なっています。

この事業は、これらの課題に対応するため、四つのモデル支部を指定し、「支部活動推進計画」を策定することで、その地域性に対応したよりきめ細かい小地域福祉活動を強化・推進するとともに、モデル支部ごとに取り組まれた活動や成果を評価・検証し、市内全域において支部活動の活性化を図ることを目的としています。

〔モデル支部〕

滝支部、埴支部、緑ヶ丘支部、みほの支部

〔指定期間〕

平成26年4月16日～平成30年3月31日

みほの支部の状況（平成25年度）

- 1 支部長 庄野拓男
- 2 福祉委員21人（民生委員・児童委員3人含む）
- 3 地域の状況（平成26年5月1日現在）

世帯数 706世帯
 人口 1,693人
 年少人口率 12.23%
 高齢化率 31.25%



- 4 支部の主な活動
 - ふれあい・いきいきサロン、世代間交流事業（年間7回、延べ210人の参加がある）
 - 新入学児童お祝い事業の開催
 - 社協会員増強運動、日赤社員増強運動、赤い羽根共同募金運動、歳末たすけあい運動の実施
 - 財源確保のため町会行事に模擬店等

計画策定経過、今後の予定

年月日	内容
平成26年 4月16日	モデル支部指定
6月11日	4か所のモデル支部による支部長会議
7月13日	第1回地区懇談会
11月26日	みほの支部福祉委員会議
平成27年 2月 7日	第2回地区懇談会
3月16日	計画の策定
平成27・28年度	計画の実施
平成29年度	計画の評価・検証

地域の状況（地区懇談会より）

これらは、地区懇談会で住民から寄せられた「地域の状況」を分類したものです。ここから地域の課題とその解決策を整理し、支部活動推進計画にまとめました。

大区分	中区分	小区分（参加者からの
高齢化の進行に伴う心配や不安	地域の困りごとが把握できない	居住者の実態がつかみにくい（居住者カードの未提出など）
	夫婦二人暮らし、一人暮らし高齢者との日常的な付き合いの希薄さや心配ごと	夫婦二人暮らしの高齢者が多い
		不安や孤独を感じている
		認知症高齢者の見守りが必要
	身の回りのことを頼れる人手や交通手段等の心配	近所同士のかかわりが無くなってきている（亡くなったことを後で知る）
		ゴミ出しが難しい高齢者がいる 公共交通機関がないと移動できない
子ども、子育て世代への支援が不十分	子ども、子育て世代への支援が不十分	子育ての相談ができていない
		幼稚園児、小学校児童の放課後や休日のたまり場がない
障害者への関わりが難しい	障害者への関わりが難しい	障害者世帯へのかかわりが難しい
世代間の交流や理解の不足	世代間の交流や理解の不足	年齢層にかかわらず交流できるイベントがあれば良い
その他	自治会の脱会や未加入者が多い	自治会の脱会者が多い
	関係団体相互の連携不足	福祉団体が二つあるが連携がとれていない

地区懇談会とは？

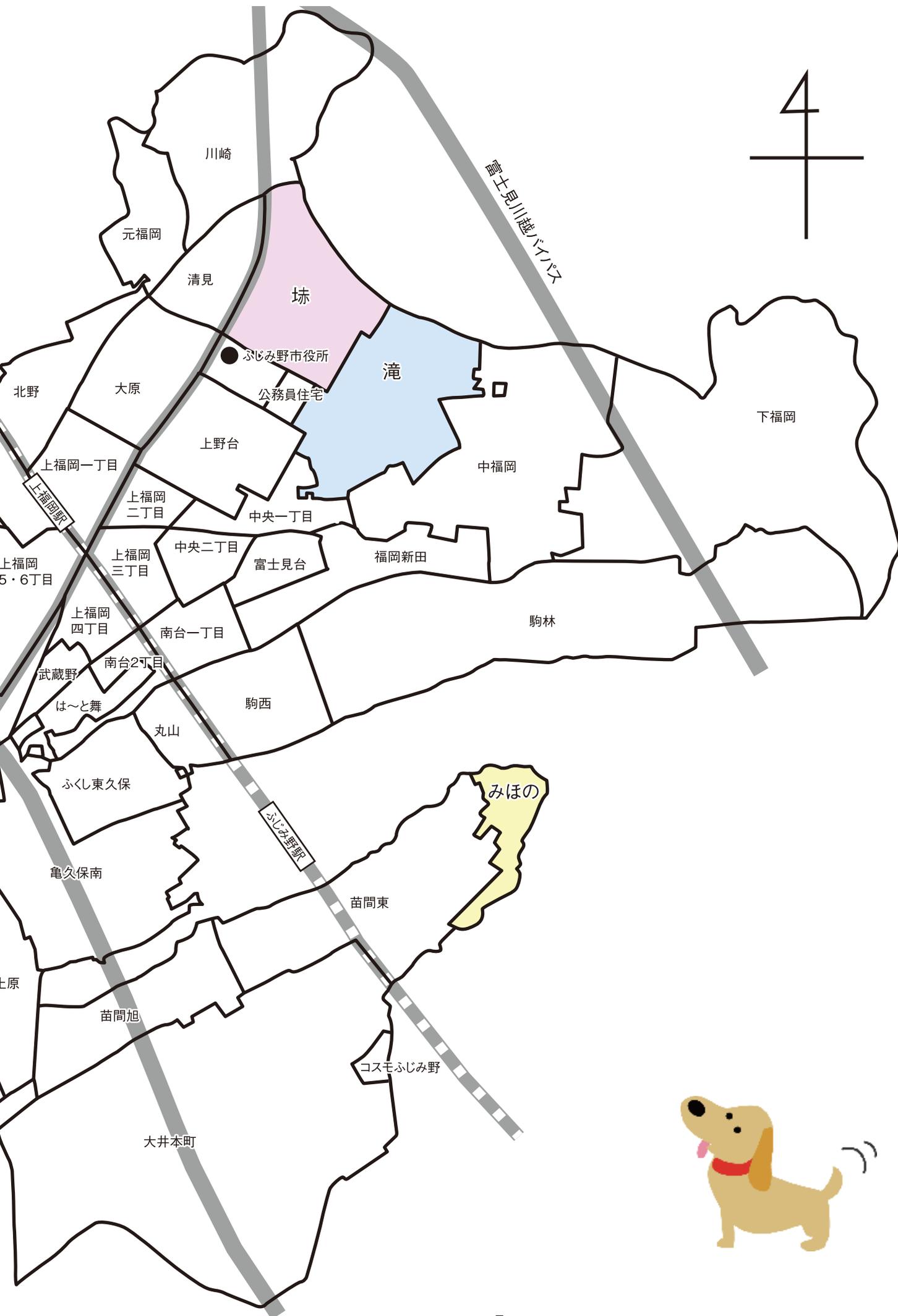
地域での福祉に関する困りごとやその解決策などを話し合うために行ったもので、町会・自治会の役員、民生委員・児童委員、子供会、いきいきクラブ、福祉施設など、多くの住民に参加していただきました。

全ての意見)		
地域の中で困っている人がいるのか、ということに理解できていないことが情けない	自分の住んでいる地域がどういう状況であるのか、が分からないことが問題（世帯構成や年齢など）	
一人暮らし高齢者が増えている	近い将来一人暮らし高齢者が増える	一人暮らし高齢者の増加による自宅等の管理が大変
高齢化による健康問題	認知症を心配している	増税、介護保険料の増加で生活が苦しくなっている
周りの人と話したり会ったりすることなく一人で家の中にいる人	閉じこもっている人がいる	引きこもりで情報が不足し手助けが遅れる心配がある
同世代の地域での繋がりがほとんどない（煩わしい、面倒と思っている）	繋がりが薄い	
商店・店舗の減少による買い物難民	高齢者が買い物に行くのが遠い	病院に行くときの交通が難しい
ちょっとした困りごと（電球交換、ブレーカーが落ちたなどの解決が難しい）	一人暮らし高齢者が大変なこと（電球交換、重い物の移動、買い物）	食事作りができない（特に男性高齢者）
子育て世代のたまり場がない		
子育て環境の中で横の関係はあるが縦の関係がない（遊びの伝承、子育ての知恵の活用）	若い世代、子どもが少ない	
地域の特に高齢者との交流（の機会）が薄い		
町会、自治会の未加入者が多い	高齢世帯が増えて自治会の役員ができない	班長の順番が回ってきても受けられない（高齢化のためか？）

ふじみ野市社会福祉協議会 支部マップ

(平成27年3月1日現在)





地域の主な困りごと

地区懇談会の声から、地域の主な困りごととその解決のためのポイントを整理しました。

住民の高齢化が進み、心配ごとや不安が広がっている

- 一人暮らしや夫婦だけの高齢者が増えて不安感や孤立感を抱えている
- 近所付き合いが希薄になってお互いの様子が分からない
- ゴミ出し、電球交換などのちょっとしたことを行うことが難しい高齢者が増えている
- 買い物や通院などの外出が難しい高齢者が増えている



子どもや子育て中の世代への支援が少ない

- 子どもや子育て世代の“たまり場”がない
- 子どもが少なくなって縦年齢での繋がりが少ない

福祉活動の担い手が増えない

- 地域の活動にかかわらない人が多い
- 高齢化に伴って地域の活動を担えない人が増えている

「地区懇談会での意見」より

地域の主な困りごとを解決するうえでのポイント

高齢者や子育て世代が相互に交流する機会をどう作るか

拡充する必要がある福祉活動の担い手をどう確保するか

基本方針

コミュニケーションは 笑顔のあいさつから

支部活動推進計画

◎重点事業



できることからやってみよう！



「コミュニティカフェ（喫茶）による交流活動の充実、強化」

コミュニティカフェを開き、住民相互のふれ合いや交流の機会を拡充します。



〔具体的な取組み〕

コミュニティカフェによる交流活動の充実、強化

平成27年度	平成28年度
<ul style="list-style-type: none">・ 開設準備（拠点、運営体制など）・ カフェの運営（週1回程度／子供の夏休み期間は週3回程度）・ 活動内容の検討（活動例：サロンで実施しているお茶飲み会、歌声喫茶、敬老会、ビンゴ大会等に加えて趣味のクラブ活動、夏休みに幼稚園を会場として子どもと交流ができるサロン等、カフェの利用者と共に考える）	<ul style="list-style-type: none">・ カフェの運営（実施回数を増やす）・ 活動内容の検討（同左）

◎全モデル支部での共通重点事業

「地域福祉活動の基盤強化」

地域の福祉課題解決のための活動基盤を強化するため、新たな担い手の確保、福祉情報の発信などの取組みを行います。



1 活動者の登録の仕組みづくり

平成27年度	平成28年度
活動者バンク（仮称）の実施に向けた準備	活動者バンク（仮称）の実施、運営

2 地域福祉活動者への参加意向の把握

平成27年度	平成28年度
アンケート調査の実施（新たな協力者への要請）	—

3 福祉情報などの発信

平成27年度	平成28年度
支部だよりの発行 （年間2回発行、編集委員会の開催、町会未加入世帯も含めた全戸配布の実施）	支部だよりの発行 （年間4回発行、編集委員会の開催、町会未加入世帯も含めた全戸配布の実施）

4 あいさつ運動

平成27年度	平成28年度
<ul style="list-style-type: none"> ・ PR（腕章作成、情報誌への掲載など） ・ 実施団体（学校など）との連携、協力 ・ 学校の登下校時の積極的な声かけ 	活動内容の充実



5 財源の捻出

平成27年度	平成28年度
継続実施（廃品回収、模擬店出店、他）	同左

◎既存事業の充実

活動者バンク（仮称）の取組みなどを通じて把握できるニーズや人材の状況などを踏まえて、既存の諸事業の充実強化を図ります。



1 ふれあい・いきいきサロン、世代間交流（年間7回）

平成27年度	平成28年度
敬老会やクリスマス会に加えて新たなイベントの実施（七夕まつり、ハロウィンパーティー等）	同左

2 見守り活動（福寿草配布部数84）

平成27年度	平成28年度
福寿草配布による見守り活動に加えて、見守りチームの結成	同左

3 新入学児童お祝い事業

平成27年度	平成28年度
イベントの継続実施	同左

4 社協会員募集、募金活動等（町会の協力により実施）

平成27年度	平成28年度
<ul style="list-style-type: none"> 新規会員募集の検討 募金活動の継続 	同左



発行日 平成27年3月

発行 社会福祉法人ふじみ野市社会福祉協議会

〔本部・上福岡支所〕

〒356-0011
埼玉県ふじみ野市福岡 1-1-1
ふじみ野市役所第3庁舎
TEL 049-264-7212 (代表)
FAX 049-264-9440
✉ info@fujimino-shakyo.or.jp

〔大井支所〕

〒356-0058
埼玉県ふじみ野市大井中央 2-2-1
大井総合福祉センター4階
TEL 049-266-1981 (代表)
FAX 049-266-1907
✉ ohishisho@fujimino-shakyo.or.jp